発信元　シーカ・ジャパン株式会社
東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階
jpn.sika.com/

お問い合わせ　北口 麻理
コミュニケーションズ
TEL　090-6130-5798
E-MAIL　kitaguchi.mari@jp.sika.com

発行日　2026 年 11 月 12 日

シーカ・ジャパン、企業訪問プログラムを実施
～企業の仕事や役割を知り、「働くこと」を考える～

シーカ・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：アマン・マルコ）は、2026 年 10 月、全国 4 校の中学生・高校生計 23 名を赤坂本社に迎え、キャリア教育を目的とした企業訪問プログラムを実施しました。本プログラムでは、社員との対話や体験型ワークを通じて、企業の仕事や役割を知り、働くことについて考える機会を提供しました。

■　実施の背景
文部科学省は、子ども一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、その基盤となる能力や態度を育むキャリア教育を推進して、学校と地域・社会が連携して取り組むことの重要性を示しています。シーカ・ジャパンも、社会貢献プログラム「シーカ・ケアーズ」の重点分野の一つとして、子どもや若者への教育支援に取り組んでいます。こうした中、学校と企業をつなぐ株式会社ミューズから企業訪問の提案を受け、シーカの会社や事業を題材にし、仕事やキャリアについて学ぶプログラムを企画・実施しました。

■　プログラム内容
会社・事業・社員紹介では、シーカの事業概要や、製品・技術が社会や暮らしをどのように支えているのかを紹介しました。また、社員の仕事内容やキャリアについても取り上げ、実際にどのような仕事に携わっているのかを伝えました。質疑応答では、事業や仕事に関する質問に加え、海外との関わりやグローバル企業で働くことについても質問が寄せられました。
後半には、社会やお客様の課題から解決策を考える体験型ワークを実施しました。生徒たちは、建物や暮らしにまつわる課題を題材に、「未来の建物」や「新しいシーカ製品」をグループで企画し、それぞれのアイデアを発表しました。さらに、こうしたアイデアを実際の製品として形にし、お客様に届けるまでには、さまざまな仕事や役割が関わっていることも紹介しました。

■　参加した生徒の声
「普段、将来について考えることがあまりなかったので、とても良いきっかけになりました。」
「社会について分からないことが多いですが、今日のお話を聞いて、これからが楽しみになりました。いつか社会に貢献できるように頑張ります。」

■ 実施概要

実施日	学校名	訪問人数
10 月 6 日	福岡県立八幡高等学校　2 年生	7 名
10 月 8 日	木更津市立木更津第二中学校　2 年生	4 名
10 月 28 日	新庄市明倫学園　3 年生	7 名
10 月 29 日	成田市立吾妻中学校　2 年生	5 名

■ 当日の様子





シーカについて

シーカは、スイスに本社を置き、建設および工業分野において、接着、シーリング、制振、補強、保護のためのシステムおよび 製品の開発と製造で世界をリードする特殊化学品メーカーです。世界 103 か国に子会社を展開し、400 を 超える工場で製品を製造するとともに、世界中の顧客に向けて革新的な技術を開発しています。また、シーカは建設 および輸送分野の環境適合性を高め、その変革の実現のうえで重要な役割を果たしています。2025 年には、33,700 名の従業員により、売上高 112 億スイスフランを達成しました。